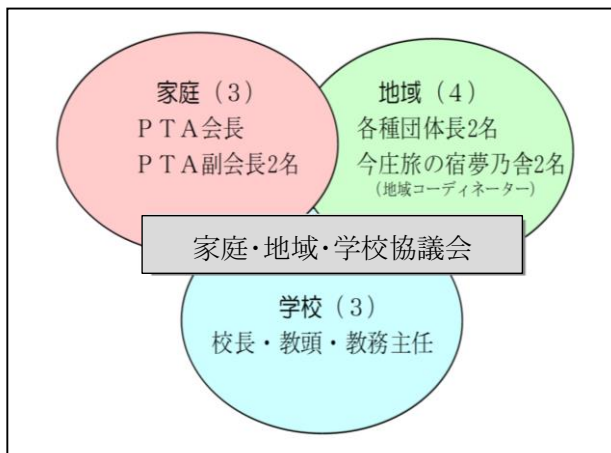


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

- ①開催回数 (予定) 年3回
- ②開催日程および協議内容 (予定)
  - 第1回(6月)・地域・学校協議会の趣旨説明
    - ・本年度の活動方針
  - 第2回(12月)・活動状況報告
  - 第3回(3月)・学校評価の分析
    - ・次年度の課題
- ③学校招待  
学校行事や学校公開日に随時

### (3) 協議会における成果と課題

重点事項である①家庭・地域と学校との情報交換を密にし、教育力の向上を図る。②保護者や地域の人々の学校行事等への積極的な参加を促す。③生徒・教職員の地域活動・奉仕活動等への積極的な参加を促進する。④地域の自然や施設・人材を活用し、小中の連携を深め、教育力の向上を図る。⑤学校評価の結果をもとに学校運営の改善や活性化に努める。のすべてにおいて成果はあったと考えている。課題としては、協議会のメンバーの高齢化が心配な点である。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

少子高齢化が進む私たちの地域「今庄」において、生徒たちが地域を知り、地域のためにできることを考え、実行していく。地域への貢献を通して地域への愛着を深める。

### (2) 活動の実際

#### ①ふる里再発見学習 (第1学年)

校外学習において訪れた「福井市」と私たちの郷土「今庄」を比較しながら調査を進めた。生徒たちは、福井市と今庄を比べることで改めて「ふる里の今庄」の『自然の豊かさ』『歴史の奥深さ』『伝統的に受け継がれている食文化』について気づくことができた。



#### ②にぎわいをプラス「街道浪漫 今庄宿」(全学年)

毎年「街道浪漫 今庄宿」では、『蛇踊り』と『吹奏楽部の演奏』を行っている。今年度も地区のイベントのにぎわいをプラスするために蛇踊りと吹奏楽の演奏を披露した。



見ている方々から大きな拍手をもらったり、声をかけてもらったりすることにより、生徒は自分たちの小さな力が祭りに大きく貢献できたという達成感を味わっていた。

**(3) 地域コーディネーターの活動概要**

- ・生徒の活動などに関する指導・助言
- ・「街道浪漫」実行委員会や講演会講師との連絡調整
- ・生徒への提案

**(4) 特に工夫した事項**

- ・ふる里再発見学習においては、生徒たちが興味をもてるような話をしていただける講師を選んだり目的を明確にしたりして、できるだけ分かりやすくした。
- ・街道浪漫の前日が校内文化祭であることもあり、なかなか蛇踊りの練習もできないが、生徒や教員の負担も考慮して当日朝の打ち合わせだけで動きを確認した。

**(5) 成果と課題**

子どもたちは活動を通して、今まで知らなかったふる里のよいところを改めて発見できていたようである。その一方で、少子高齢化がすすみ、自分たちのふる里がなくなってしまうかも知れないという危機感をもつことで、今の自分たちに出来ることは何かを考える機会となった。

街道浪漫では、例年通り「蛇踊り」と「吹奏楽部の演奏」を披露して、にぎわいをプラスすることが出来たが、昨年行った「ウェルカムキャスト」は今年度実施出来なかった。プロジェクトの担当者が代わったこともあり変更になったが、引き継ぎを確実にしてもらい継続的な活動になるようにしていきたいと考えている。